

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/06/26号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

世界金利上げにゴールド下落

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



前回のこのレポートで、FOMCの年内あと2回合計50bpの利上げの意向がはっきりとしたにも拘わらずゴールドは下がらず、一体どうすれば下がるのかということを書きましたが、前週はある意味その答えのようなマーケットとなりました。英国、ノルウェー、スイスが相次いで金利上げを発表、さすがに世界的な金利上げに、ゴールドは一時1910ドルまで下げました。週末はそこで折り返し1920ドルで週越えとなりかろうじて1900ドルを割ることはありませんでした。しかしマーケットとしてはこれまでサポートとして割れなかった1940ドルの100日移動平均線がブレイクされたことでテクニカルにも売りが出やすい状況となっています。前週の議会証言でパウエル議長はもう2回の利上げをふたたびはっきりと明言し、マーケットは年内の利下げの可能性を除外しはじめたと言えます。それに拍車をかけるようにBank of England が4.5%から5%へと0.5%の金利上げを発表、ノルウェーも0.5%の利上げ、スイスは1.5%から1.75%へと0.25%の利上げとなり、各中央銀行はさらなる利上げを示唆しており、まさにゴールドにとっての逆風がより強くなったと言えます。唯一この金利上げの例外は中国の金利下げ、そして日銀の大規模緩和継続の決定です。これは人民元と日本円がほかの通貨に比べると安くなるという必然的な状況になりました。ドル円はほぼ一本調子で円安へと動き、143.70円という昨年11月初旬以来のレベルまで下げ、ドル建てゴールドの下げにも拘わらず円建てゴールドは8880円と堅調。今後ドル建てゴールドが1900ドルを割るかどうかが一つの焦点となりそうです。また今後の米国の経済指標、特に雇用の数字が悪化していき、リセッションの恐れが大きくなっていくと、金利上げもマーケットが思っているほど確定的ではなくなるでしょう。個人的には1900ドル割れがもしあれば拾いたいところだと思います。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレマー）をお読み下さい。

金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

【マーケット・トピック】

「World Silver Survey 2023より」

最新のシルバーの鉱山生産です。中国が初めてペルーの抜き世界第二位に。シルバーもゴールドと同じく世界中で算出されているのがわかります。ちなみに日本はシルバーの輸入国で、その輸入先は主に韓国（銅や亜鉛鉱石からの生産）、オーストラリア、メキシコ、ペルーなどです。韓国と同様に、日本の精錬業者も輸入した亜鉛・鉛鉱石や銅鉱石からシルバーを精錬しており、国内山物と呼ばれています。中国のシルバーは不純物の不安定さからあまりに日本には輸入されていません。

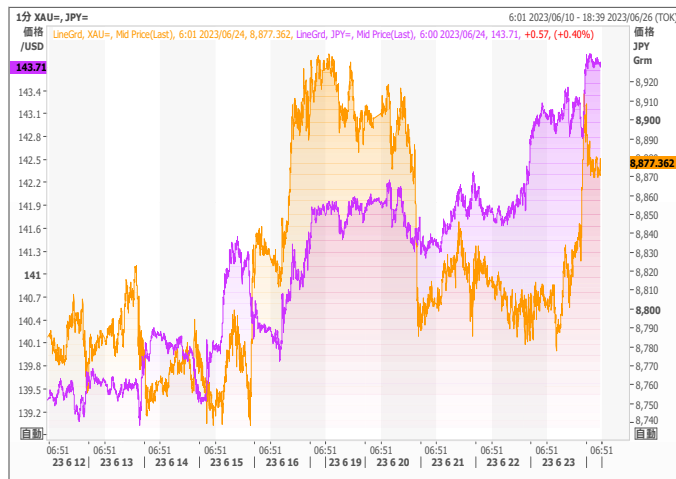


Gold ETF残高とゴールド価格

2022年シルバー生産(トン)		
1	メキシコ	6,196
2	中国	3,477
3	ペルー	3,328
4	ポーランド	1,319
5	チリ	1,303
6	ロシア	1,278
7	ボリビア	1,204
8	オーストラリア	1,197
9	米国	1,008
10	アルゼンチン	961
11	インド	694
12	カザフスタン	460
13	スエーデン	460
14	インドネシア	355
15	カナダ	271
16	モロッコ	264
17	ウズベキスタン	218
18	トルコ	146
19	ドミニコ共和国	90
20	パナマ	87
	その他	1,257
	合計	25,573



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

